

福島県  
書道連盟

# 会報

第32号

令和7年3月31日発行

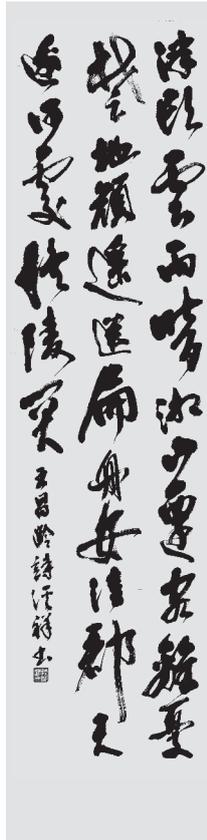
福島県書道連盟  
広報部

本部〒960-1101  
福島市大森字鶴巻67-6  
電話 (024) 539-7548

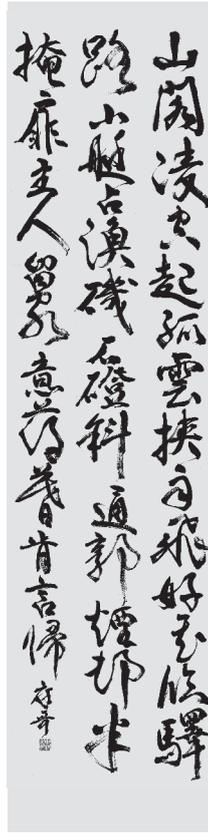
令和六年度 第四十八回福島県書道連盟展

「紙上展」

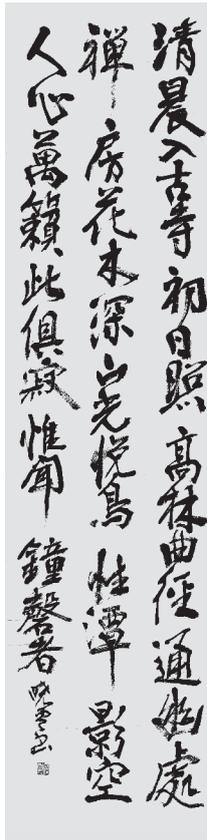
【一般の部】



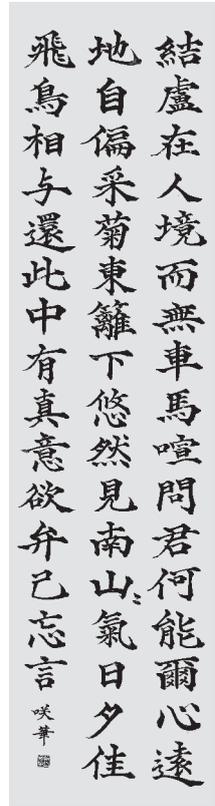
送薛大赴安陸 136×35cm  
福島県知事賞  
遠藤 溪 祥 (田村市)



山閣凌空起 131×35cm  
福島県書連大賞  
中村 庭 哥 (福島市)



破山寺后禅院 136×35cm  
福島県書連大賞  
長 嶺 曉 雲 (会津若松市)



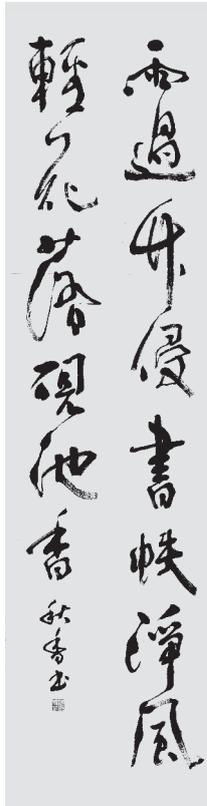
陶淵明詩 136×35cm  
福島県書道連盟賞  
飯 沼 咲 華 (川俣町)



張繼詩 136×35cm  
福島県文化センター館長賞  
鈴 木 玉 泉 (石川町)



般若心經 131×35cm  
福島市長賞  
内 海 春 邨 (会津若松市)



兩過竹侵書帙 136×35cm  
福島市教育委員会教育長賞  
阿 部 秋 香 (福島市)



麒麟 136×35cm

読売新聞東京本社福島支局賞  
安藤友翠 (郡山市)



寂然不動 136×35cm

朝日新聞福島総局賞  
山垣白峰 (三島町)



廣唱豊句 131×35cm

福島民友新聞社賞  
宗像芳泉 (小野町)



夏雲多奇峰 136×35cm

福島民報社賞  
波呂静旭 (福島市)



淑景晴薰紅 136×35cm

福島中央テレビ賞  
小坂橋京霞 (会津若松市)



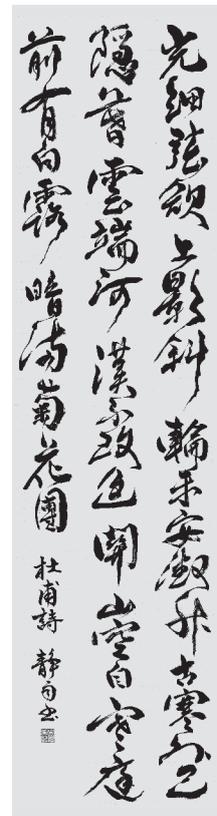
臨 張猛龍碑 136×35cm

福島テレビ賞  
早川松嵐 (会津若松市)



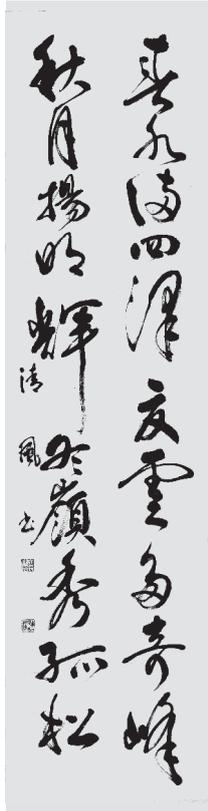
天真 136×35cm

NHK福島放送局賞  
神永溪山 (塙町)



光細弦欲上 136×35cm

毎日新聞福島支局賞  
齋藤静雨 (福島市)



四時 137×35cm

ふくしまFM賞  
大橋清風 (福島市)



洞庭西望楚 136×35cm

ラジオ福島賞  
渡邊黄樹 (福島市)



赤い夕陽に 136×35cm

テレビユー福島賞  
佐藤清紫 (福島市)



金井梧桐生 136×35cm

福島放送賞  
酒井幽泉 (只見町)

福島県知事賞を受賞して

遠藤 溪祥  
(田村市)

この度は、第四十八回福島県書道連盟展において、「福島県知事賞」をいただき、大変身に余る光栄に存じます。ご推挙くださいました菅野精堂会長をはじめ諸先生方に厚く御礼申し上げます。

また、これまで熱心にご指導くださいました阿部大溪先生並びに阿部大河先生には深く感謝申し上げます。

趣味として習い始めた書道は、もう二十八年になり、今では、歴史ある書道という伝統文化に触れることのすばらしさ、奥深さに魅了を感じております。

こうして今の自分があるのは、ご指導くださった先生方や仲間、家族の陰です。また、福島県書道連盟会員の皆様との出会いにも感謝いたしております。

結びに福島県書道連盟の益々のご発展と同連盟会員皆様方のご健筆をお祈り申し上げます。今後とも変わらぬご指導を賜りますよう、よろしくお願いたします。

福島県書道連大賞を受賞して

中村 庭哥  
(福島市)

この度は、第四十八回福島県書道連盟展におきまして、福島県書道連大賞を賜り誠にありがとうございました。これも偏に菅野精堂会長はじめ、ご指導いただいている菅野泰洲先生、曙光先生のお力添えによるものと深く感謝申し上げます。

私の書道との関わり方は、四十代・五十代はひたすら書き続けました。六十代は、少しづつまずき、立ち止まり、時折夫から「今日も書かないの？」と声掛けがありました。七十代になりまして、自分を見つめ直し、普通の生活ができて、そして書に向き合える今があります。

今は、改めて創作の難しさと奥深さを痛感しています。今回の受賞を励みにこれからも仲間を支えられ、共に楽しくゆつくり書に向き合えたらと願っております。

結びに、福島県書道連盟の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

福島県書道連大賞を受賞して

長 嶺 暁 雲  
(会津若松市)

この度は、第四十八回福島県書道連盟展におきまして、「福島県書道連大賞」という名誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。この栄誉を授かりましたのも偏に菅野精堂会長をはじめ諸先生方のご指導とお力添えのおかげでございます。心より御礼申し上げます。私の書道人生に思いを巡らせますと、書道の魅力と奥深さに引き込まれ、長年書を趣味として歩み続けてきたことはまさに無形の財産であり、宝であるとしみじみ感じております。何かに夢中になれるものがあることは、幸せな時間をもたらしてくれると改めて実感しました。大好きな書に存分に専念できる日々、ご指導くださる先生方や切磋琢磨できる連盟の皆様との出会いに感謝しております。そして、この度の身に余る光栄の感激を胸に刻み、より一層精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

結びに、福島県書道連盟の益々のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

最優秀団体賞「文部科学大臣賞」を受賞して

福島県立福島東高等学校  
郡 司 仁 美  
(福島市)

この度は、福島県書道連盟展におきまして最優秀団体賞「文部科学大臣賞」をいただき、東高書道部部員一同とともに御礼申し上げます。本校書道部は、ひとり一人の書の技術の向上を目指すことと、well-beingを常に念頭に置いてチームとして活動しています。その目標達成のために、部員全体での合評会や他校との合同練習会、展覧会への参加の機会を増やしてきました。その成果としていただけました今回の団体賞は大きな励みであり、更に今後の練習内容を再考する良い機会となりました。ありがとうございます。ご縁ありまして、会長の菅野精堂先生とは高等学校の書道研究会でもお仕事を一緒にさせていただいています。ユーモアの中にも「錬筆錬心」を大切にされ日々書に向き合っている姿勢に、生徒ともに刺激をいただき研鑽させていただいております。こういったご縁も大切に、今後も変わらぬご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

最優秀団体賞「県書道連盟大賞」を受賞して

書道研究会  
大師塾 郡 司 聖 峰  
(小野町)

この度は、第四十八回福島県書道連盟展におきまして、栄えある「県書道連盟大賞」をいただき、ご推挙いただきました菅野精堂会長はじめ連盟の先生方に厚く御礼申し上げます。また、日頃より精力的にご指導いただきありがとうございます。本会主宰阿部大溪先生並びに阿部大河先生に、改めて感謝申し上げます。

本会は平成二十一年に社中展「出航」を開催しましたが、この度、本年七月下旬に第二回の社中展「邂逅」の開催を予定しており、会員がそれぞれ作品制作に取り組んでおります。

これまで数々の賞を獲得している「小中学生の部」や着実に実力を伸ばしてきた「学生の部」の作品のほか、円熟味を増した「一般の部」の作品を小野町ふるさと文化の館において展示します。加盟団体の皆様はもとより、御家族友人等お誘い合わせの上、御高覧いただければ幸いです。

末筆となりましたが、連盟の皆様のご健勝と御健筆を心からお祈り申し上げます。受賞の御挨拶とさせていただきます。

最優秀団体賞「福島市長賞」を受賞して

後藤教室  
後 藤 翠 春  
(須賀川市)

「席書の市(まち)」須賀川市。今年六十四回の大会を終え、結果もうなづく程の上手な作品が勢揃いでした。須賀川市に移住して早二十年。この歳月は席書と共に歩んできたような気がします。二十年前に比べ出品者数も大分少なくなり、子どもの減少を嫌でも感じずにはいられません。その反面、腕に磨きがかかり、作品は年々上手になっていきます。特に今年の中学三年生の作品は目を見張るものばかりで審査員泣かせではなかったかと思われ。改めて継続する事の大切さを思い知らされました。そしてもう一点、改めて感謝の念です。大会のために一人ひとりのマス席を作ったり展示のために紙表装の準備をしたりと裏舞台の皆さんです。県書連の先生方におかれましては、大会を開催するための準備も同様で、大会を開催するための準備等、本当に頭が下がります。表舞台のうらにはそれ以上に動いて下さっている方々がいることを忘れてはなりません。改めて、この度は「福島市長賞」を頂きまして、心よりお礼申し上げます。

高校生の部 大賞を受賞して

学校法人松韻学園福島高等学校  
三年 夏井美輝  
(福島市)

この度、福島県書道連盟展において、高校生の部で「大賞」をいただき、誠にありがとうございます。光栄な賞をいただき、本当に嬉しく思っています。私が学法福島高校に入学した最も大きな理由は、書道部顧問の菅野精堂先生の下で「大字仮名」を学び、全国高等学校総合文化祭に出場したり、さまざまな大会で大賞受賞を目指したいと思ったからです。菅野先生に出会って、初めて漢字にはない仮名特有の流れや筆使いを知りました。毎日筆に触り何度も練習し、体に感覚を覚え込ませました。昨年の八月には、目標としていた全国高等学校総合文化祭書道部門(岐阜大会)に福島県代表として出品・参加させていただきました。そこでは、レベルの高い作品に圧倒され、これから書く作品制作への励みになりました。今回、福島県書道連盟展において「大賞」を受賞できたことは、自分自身にとって大きな自信になりました。菅野先生をはじめ、諸先生方のおかげだと思っております。ありがとうございます。

学生の部 大賞を受賞して

福島県立医科大学  
三年 長久保周子  
(小野町)

この度は、福島県書道連盟展におきまして、学生の部大賞をいただき大変光栄に存じます。ご指導いただいた阿部大溪先生、阿部大河先生のお力添えに深く感謝申し上げます。

今回の作品制作でも痛感したことですが、大学の学年が上がるにつれ、以前のように書道に日頃から打ち込むことは難しくなっています。最近就職活動も始まり働き始めた方より書道から遠ざかってしまうような気がしています。だから忙しい合間を縫って書道を学んでいる皆様を心から尊敬します。今は難しくても、うまく書道と向き合う時間を作っていきたいです。また、このような作品展があることで書道をする機会をいただけていることにも感謝したいです。普段書けていなくても作品展に向けて練習する際に書道が好きだと改めて実感できています。最後にこれからの福島県書道連盟のご発展をお祈りし、受賞の挨拶とさせていただきます。

小中学生の部 大賞を受賞して

川俣町立川俣小学校  
四年 齋藤まえむ

この度は、第四十八回福島県書道連盟展、小中学生の部で大賞をいただき、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。

私には、姉が二人いて、小さいころから、書道をしているすがたを見てきました。ようち園の年長の時に書道展に出してみようとなったのをきっかけに、書道を始めました。書道教室には通っていない私には、筆の使い方がむずかしかつたですが、姉に教えてもらいながらがんばることができました。今回の作品は、日のたて画がむずかしくて何回も練習しました。学年が上がるにつれて漢字もふえていき、もつとむずかしくなってくると思うので、たくさん練習をして、見てくれた人がきれいだなと思ってくれるように努力していきたいと思っています。これからも支えてくれる家族に感じやの気持ちを忘れずに書道を続けていきたいと思っています。

小中学生の部 大賞を受賞して

小野町立小野中学校  
三年 宗像奏美

この度は、第四十八回福島県書道連盟展におきまして、小中学生の部「大賞」をいただき、誠にありがとうございます。また日頃より優しく熱心にご指導してくださる大師塾の先生方に感謝申し上げます。

私は小学一年生から習字を始めました。当時、両親が書道を習っていて、師範を取るために仕事をしながら努力していました。私も両親のように習字を頑張りたいと思ったことがきっかけでした。習字は思っていたよりとても難しく、簡単に上達はしませんでした。しかし、諦めずに努力し続けました。「継続は力なり。」習字を通して、努力することの大切さを学ぶことができました。現在、私は先生から教えていただいた言葉を大切にしながら、日々習字と向き合っています。「文字にも人と同じ一つひとつに個性があり、その個性を理解することが大切。」これからはそれぞれの文字の良さを生かせるよう、技術を磨いていきたいと思っています。

# 令和六年度福島県書道連盟 活動状況報告

福島県書道連盟 会長 菅野精堂（忠信）

## 「継続する情熱」

「才能とは継続する情熱のことである」というモーパッサンの言葉は、シンプルながら非常に深い洞察を含んでいます。この名言は、成功や才能が一瞬の閃きや先天的な資質だけではなく、絶え間ない努力や情熱の積み重ねによって形成されることを伝えていきます。モーパッサンは十九世紀のフランス文学を代表する作家であり、その作風や哲学は多くの人に影響を与え続けています。この名言も、彼の生涯を通じて培われた実体験に基づくものであり、今でも成功を目指す多くの人に共感を呼んでいます。そして、彼自身が成功に至るまでの試行錯誤や、絶えず自分を磨き続けた姿勢から生まれたものです。「才能とは天賦のものではなく、情熱と継続が鍵である」という彼

の考えは、多くの成功者にも通じる普遍的なテーマです。

この言葉が伝える核心的なメッセージは、「才能は先天的なものではなく、情熱を持って続けることから生まれる」ということです。才能は継続的な努力によって開花するものであり、一度にすべてが手に入るわけではない、という意味が込められています。

これらのことを学書（書法を学ぶ・筆法を学ぶ）の場合に置き換えてみると、日々のお稽古、特に臨書を地道に繰り返して反復練習を続けることに通じるのだと思います。振り返り（反省）を伴った繰り返しこそが前進です。その過程で新しい気づきや発見があり、自己の成長を感じることができ、昔から「三日三月三年」と言って、仕事を始めて三日間、三か月目、三年目に辞めなくなるそうです。やめるのは

いつでもできますが、続けることは今

日しかできません。字形を正確にとらえられず、思うような強い線が出せずに練習の中で行き詰ってしまうことは多々あります。この正念場でどれだけ筆を持ち続けられるかが成長の鍵になります。

今年度の福島県書道連盟展は福島県文化センターの改修工事に伴い、会場をロイヤルホール（福島民報ビル三階）に変更しての開催となりましたが、福島県内外から書愛する多くの皆様から「心」と「情熱」が込められた素晴らしい作品を出品していただき、無事に開催できますこと、福島県、県教育委員会をはじめとする多くの後援団体様からのご支援のお蔭と、心より感謝申し上げます。

私たち福島県書道連盟も一歩ずつ確かな歩みを続けて参りたいと思いま

す。

※注 モーパッサン……ギ・ド・モーパッサン（一八五〇～一八九三）フランスの自然主義の小説家、劇作家、詩人。二十世紀初期の日本の作家にも影響を与えた。





己克礼復仁

昭和二年生・九十七歳

湯田典道 (南会津町)

己克礼復仁

典道 二 圖 印

136×35cm

植策稿心聽  
風拂拂弄衣巾

周六一 圖 印

136×35cm

植策稿心聽

昭和三年生・九十六歳

関谷一 (只見町)

一燈幽館菊

昭和七年生・九十二歳

田辺信雲 (会津若松市)

一燈幽館菊  
少樓梧葉風

信雲 圖 印

136×35cm

登蒲潤寺後巖

昭和九年生・九十歳

中丸蕭葉 (金山町)

吾驕五年何代降  
時迹山餘禹日程  
發天香浩笑煙波裏  
浮冥興甚長

蕭葉 圖 印

136×35cm

あしひきの

昭和九年生・九十歳

平野恵泉 (檜枝岐村)

あしひきの  
平野恵泉

27×24cm



【小中学生の部】

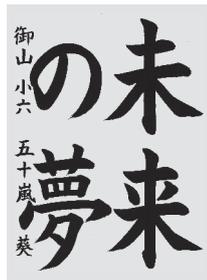
◎大賞

川俣町立川俣小学校  
四年 齋藤 まえむ



◎準大賞

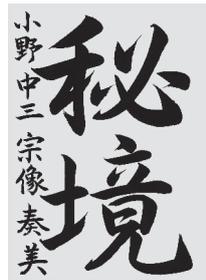
福島市立御山小学校  
六年 五十嵐 葵



いわき市立中央台東小学校  
六年 末廣 莉央奈



小野町立小野中学校  
三年 宗像 奏美



小野町立小野中学校  
一年 岩塚 結咲



いわき市立泉中学校  
一年 平子 みのり



【高校生の部】

◎大賞 春日野に

学法福島高校 三年 夏井 美輝



◎準大賞 臨 胡澍 篆書文語四屏

安積黎明高校 三年 鈴木 琉彩



◎準大賞 臨 石臺孝經

福島東高校 三年 高橋 朋美



◎準大賞 臨 魏靈藏造像記

福島東高校 二年 佐藤 歌音



◎大賞 秦鎬句

福島県立医科大学 三年 長久保 周子



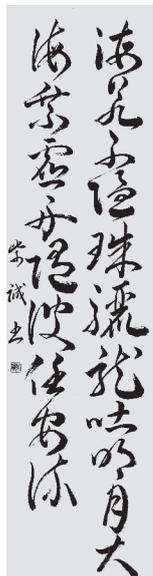
◎準大賞 趙翼詩

大東文化大学 三年 先崎 美咲



◎準大賞 海若不穩珠

東北芸術工科大学 二年 加藤 まりあ(紫誠)



136×35cm

136×35cm

136×35cm

136×35cm

136×35cm

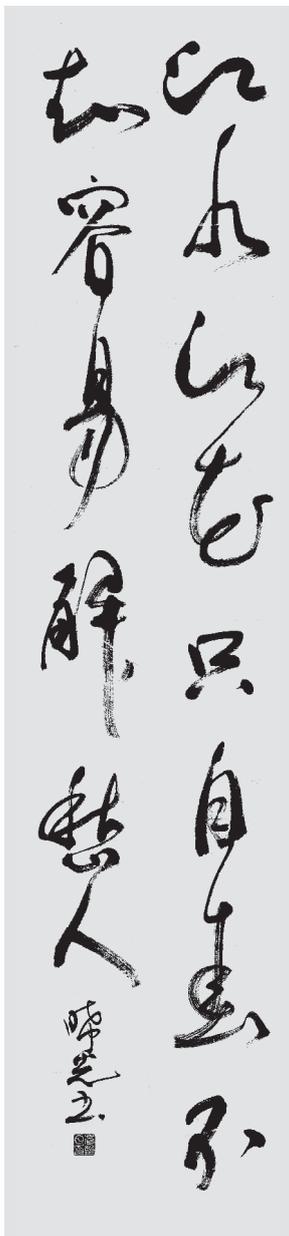
136×35cm

136×35cm



136×35cm

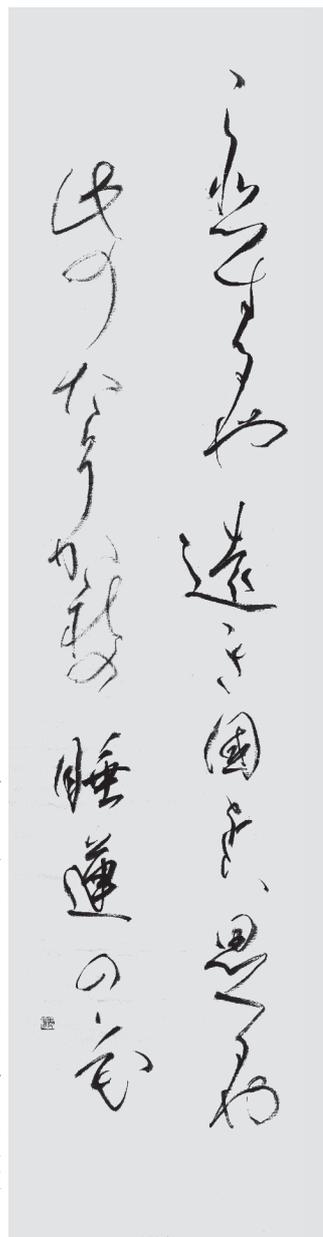
窮居而聞處  
 総務 二階堂黄岳  
 (福島市)



136×35cm

江水江花只  
 副会長 菅野晞光  
 (福島市)

江水江花只自春  
 不知容易解愁人



136×35cm

恋するや  
 会 長 菅野精堂  
 (福島市)

恋するや遠き国をば思へるやこのたそがれの睡蓮の花  
 (与謝野晶子 第十一歌集『夏より秋へ』)



136×34cm

春暁

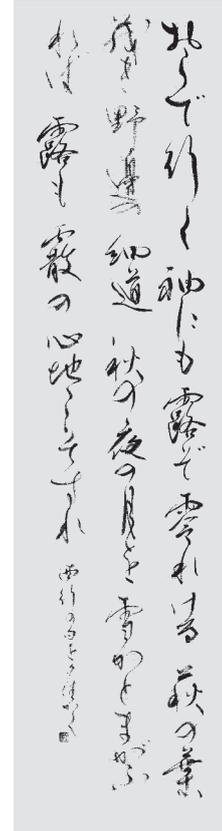
副理事長 後藤翠春  
(須賀川市)



68×35cm

若虚

理事長 目黒仁舟  
(只見町)



136×34cm

秋の歌 二首

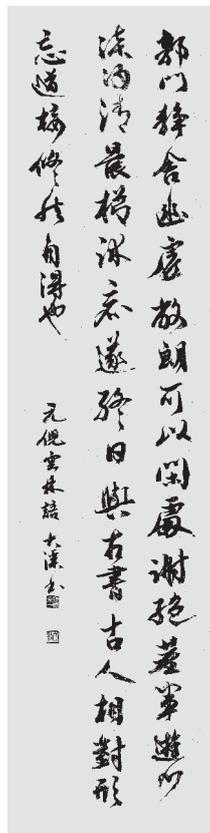
副総務 佐藤夕佳  
(宮城県柴田郡大河原町)



136×34cm

断煙匹馬

客員 菅野泰洲  
(福島市)



136×34cm

元倪雲林語

常任理事 阿部大溪  
(小野町)



136×34cm

真不孤

常任理事 渡辺魁士  
(三春町)



第48回展表彰式・祝賀懇親会  
R6.10.27 於：ホテル福島グリーンパレス



第48回展祝賀懇親会 余興 波呂静暁様 (黄雅書道会)



第48回展 祝賀懇親会 余興 後藤教室の皆様



第48回展祝賀懇親会 余興  
R6.10.27 於：ホテル福島グリーンパレス



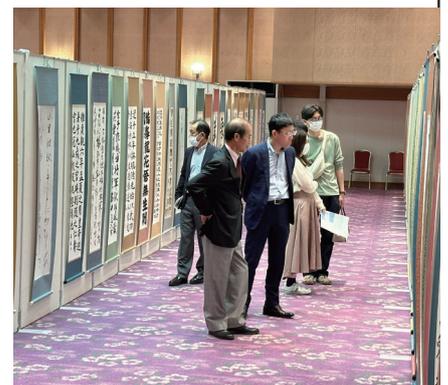
第48回展 会場 民報ロイヤルホール



第48回展表彰式でのご挨拶  
県書連大賞 長嶺暁雲様 (會津会)



第48回展会場民報ロイヤルホール



第48回展 民報ロイヤルホール  
R6.10.11~13



令和6年度総会  
R6.4.7 於：学法福島高校



第48回展 一般の部審査会  
R6.7.14 於：学法福島高校



高校生部の審査会  
R6.7.7 於：学法福島高校



第48回展 小中学生の部審査会  
R6.7.7 於：学法福島高校

第四十八回福島県書道連盟展

▼会期 令和六年十月十一日(金)

～十三日(日)

▼会場 ロイヤルホール

(福島民報ビル三階)

▼表彰式 会場の都合から

一般の部のみ実施。

◎一般の部

- ・福島県知事賞 遠藤溪祥 (田村市)
- ・福島県書連大賞 中村庭哥 (福島市)

- ・福島県書連大賞 長嶺暁雲 (会津若松市)

- ・福島県書道連盟賞 飯沼咲華 (川俣町)

- ・福島県文化センター館長賞 鈴木玉泉 (石川町)

- ・福島市長賞 内海春邨 (会津若松市)

- ・福島市教育委員会教育長賞 阿部秋香 (福島市)

- ・福島民報社賞 波呂静暹 (福島市)

- ・福島民友新聞社賞 宗像芳泉 (小野町)

- ・朝日新聞福島総局賞 山垣白峰 (三島町)

- ・読売新聞東京本社福島支局賞 安藤友翠 (郡山市)

- ・毎日新聞福島支局賞 齋藤静雨 (福島市)

- ・NHK福島放送局賞 神永溪山 (塙町)

- ・福島テレビ賞 早川松嵐 (会津若松市)

- ・福島中央テレビ賞 小坂橋京霞 (会津若松市)

- ・福島放送賞 酒井幽泉 (只見町)

- ・テレビユー福島賞 佐藤清紫 (福島市)

- ・ラジオ福島賞 渡邊黄樹 (福島市)

- ・ふくしまFM賞 大橋清風 (福島市)

- ◎最優秀団体賞 文部科学大臣賞 福島県立福島東高等学校 (福島市)

- ◎県書道連盟大賞 書道研究会大師塾 (小野町)

- ◎福島市長賞 後藤教室 (須賀川市)

- ◎団体特別賞

- いわき市立小名浜西小学校 (いわき市)

- いわき市立菊田小学校 (いわき市)

- いわき市立長倉小学校 (いわき市)

- 福島大学附属小学校 (福島市)

- 富田東書写研究会 (郡山市)

- 白河市立東中学校 (白河市)

- 福島県立福島高等学校 (福島市)

- 学校法人松韻学園福島高等学校 (福島市)

- 硯心書道会 (福島市)

- 會津会 (会津若松市)

- 五十嵐書道教室 (南会津町)

- 太陽書道教室 (塙町)

- 西丸書道教室 (古殿町)

- 佐藤書道教室 (白河市)

- 泉書写書道教室 (いわき市)

- ◎優秀団体賞

- 矢吹町立矢吹中学校 (矢吹町)

- 福島大学附属中学校 (福島市)

- 高橋書道教室 (福島市)

- 池田書道教室 (喜多方市)

- 小松山書道教室 (喜多方市)

- 木村書道教室 (喜多方市)

- 魁士書院 (三春町)

- 紫雪書道教室 (福島市)

- 松浦書道教室 (国見町)

- 星野書道教室 (郡山市)

- 古関書道教室 (白河市)

- 大橋書道塾 (福島市)

- 梓風書道教室 (福島市)

- みずほ書道教室 (伊達市)

- 黄雅書道会 (福島市)

- 書道研究会 霞仙塾 (川俣町)